

經濟論叢

第164卷 第6号
中居文治教授記念號

献 辞	西 村 周 三	
米国における法的資本制度・ 分配規制・会計規定	西 田 博	1
債務負担行為の会計学	醍 醐 聰	41
創造的会計とその社会的監視	小 野 武 美	66
利益予測に対する自己防衛行動	富 田 知 嗣	86
戦略的計画設定と予算管理との結合	上 總 康 行	103
アメリカにおける利益測定論の展開	藤 井 秀 樹	125
企業不正支出の資産性に対する理論的考察	宮 本 幸 平	145
持分概念の曖昧さと会計実務における弾力性	池 田 幸 典	160

中居文治 教授 略歴・著作目録

平成11年12月

京 都 大 學 經 濟 學 會

献 辞

中居文治教授は、1999年12月17日に63歳の誕生日を迎えられ、2000年3月31日をもって本学を退官されることになりました。

中居教授は、1961年3月に京都大学経済学部を卒業され、引き続き大学院経済学研究科で研鑽を積まれ、1966年4月に名古屋市立大学経済学部の講師として着任され、その後助教授、教授として教育・研究に長く携わってこられました。1990年4月に京都大学経済学部の会計学講座の教授として転任され、ちょうど10年間、本学で教育・研究活動に尽力してこられました。

中居教授のご研究は多岐にわたっていますが、とくに価格変動会計、とりわけ貨幣価値変動会計を主要な領域として行われ、数多くの論文がその成果として発表されています。教授の最大の研究課題は価格変動にともなう企業会計の影響を財務諸表上で検証し、その意味を導出することにあります。そのために独自の貨幣価値変動修正計算定式が考案され、この定式に実際データを適用してコンピュータによる膨大な量の修正計算が行われました。しかもこの修正計算は日本、アメリカ合衆国、ドイツ、イギリスの上場企業の財務諸表累計データについての四カ国の比較研究のほか、インフレーションの国民経済部門への影響検証やシミュレーションにまで及んでおり、日本はもとより世界的にも例をみないユニークかつ優れた研究であります。すでに会計学会などで高い評価を受けています。また、会計理論学会幹事・常任幹事を歴任されるなど、わが国の会計学の発展と革新に貢献されてきました。

他方、中居教授は、研究と教育にとどまらず、行政面におきましても、経済学部経営学科長の重責を果たされるなど、本学および本大学院経済学研究科・経済学部の発展のために多大の貢献をなされました。

京都大学経済学会は、中居教授の多年にわたるご功労とご業績に対して、心からの敬意と感謝の気持ちをこめて、ここに「経済論叢」の記念号を編集いた

しました。中居教授のご指導を受けられた研究者を中心に、会計学に関連する論文を纏んでお贈りできますことは、わたくしどもにとってもこの上ない喜びであります。

中居教授が、今後ともますますご健康で、学界のため、また広く社会のためにご活躍くださいますことを、心からお祈り致します。

1999年12月1日

京都大学大学院経済学研究科長 西村 周三